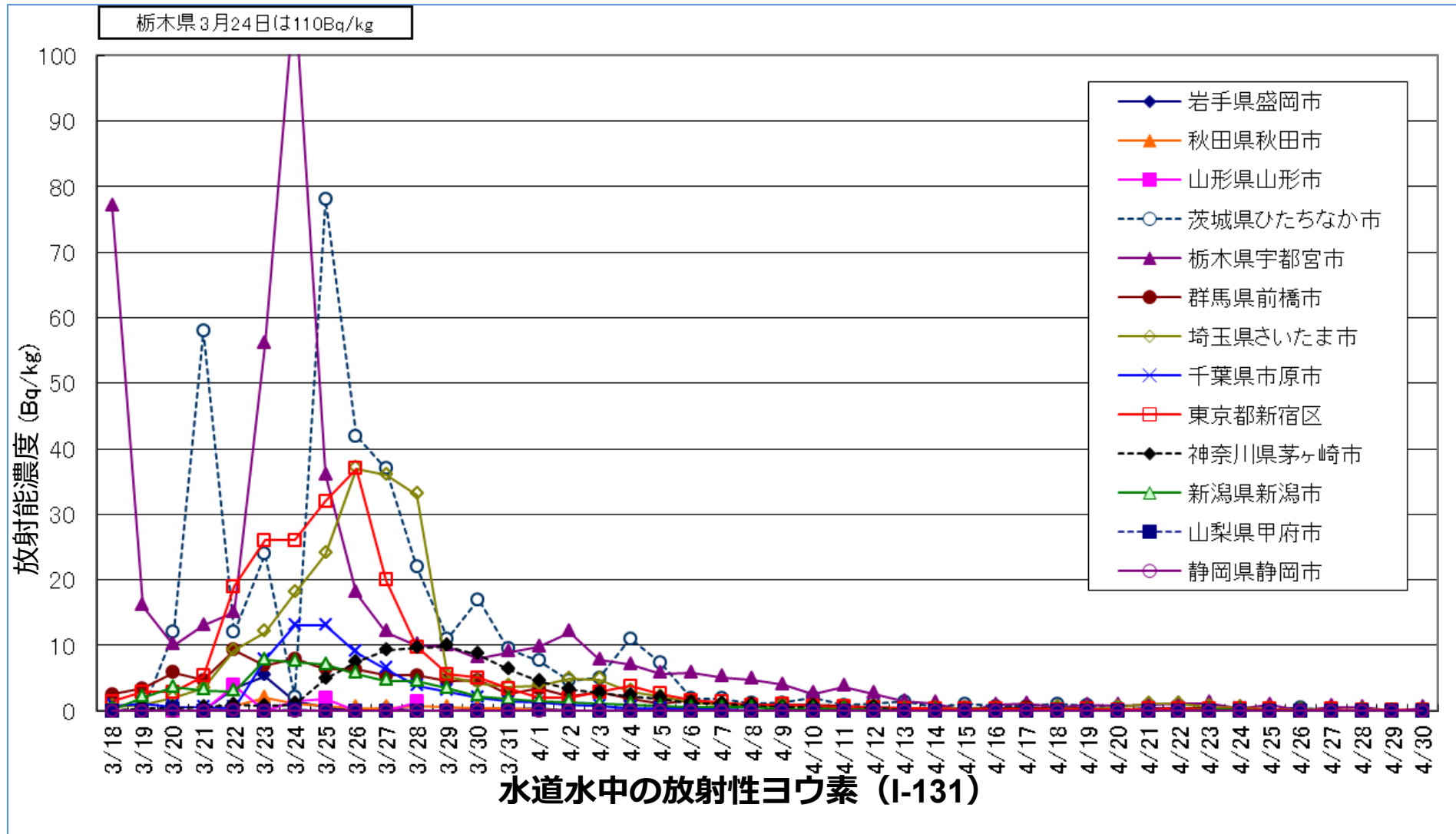


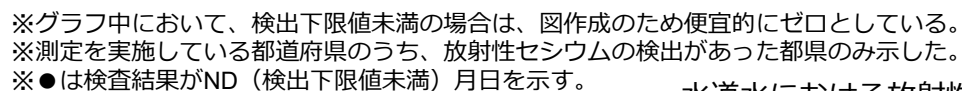
放射性ヨウ素（1都12県）



※グラフ中において、検出下限値未満の場合は、図作成のため便宜的にゼロとしている。
 ※測定を実施している都道府県のうち、放射性ヨウ素の検出があった都県のみ示した。

Bq/kg:ベクレル/キログラム

水道水における放射性物質対策中間取りまとめ
 厚生労働省 水道水における放射性物質対策検討会（2011年6月）資料より作成

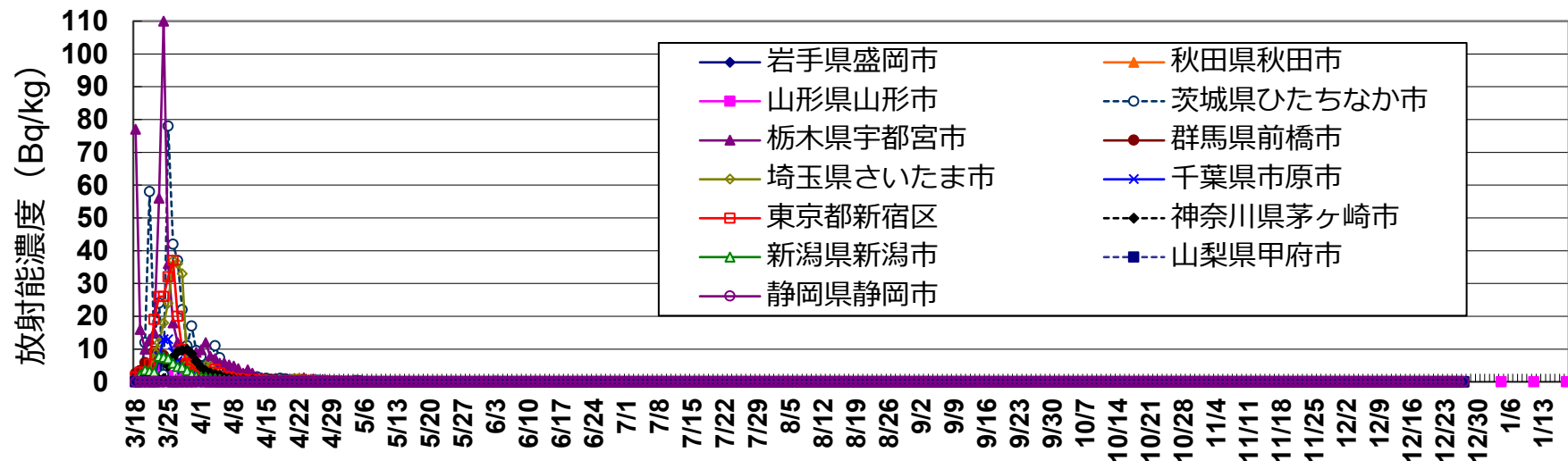


出かあった都県のみ示した。

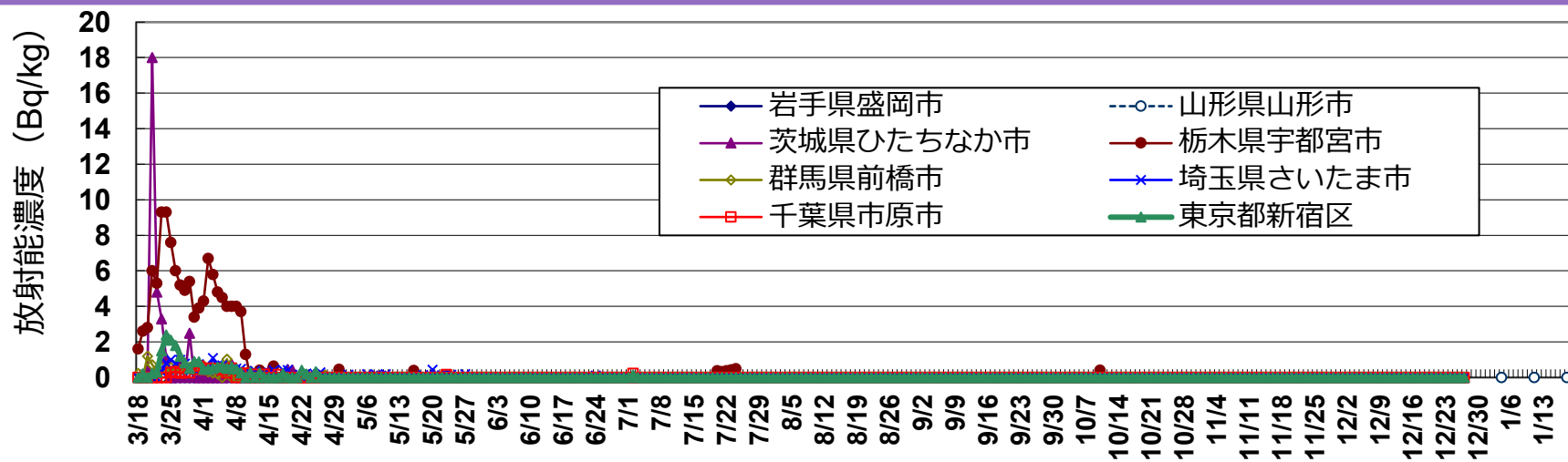
Bq/kg:ベクレル/キログラム

水道水における放射性物質対策中間取りまとめ
厚生労働省 水道水における放射性物質対策検討会（2011年6月）資料より作成

水道水モニタリング結果（～2012年1月）



水道水中の放射性ヨウ素 (I-131)

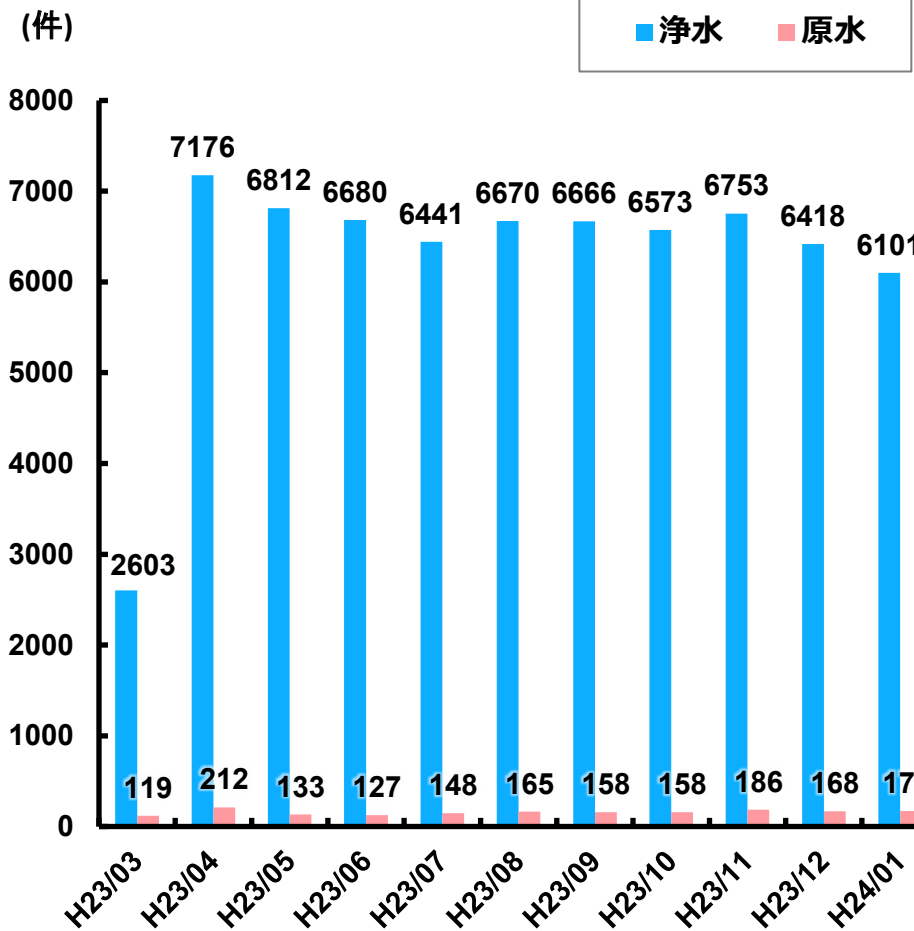


水道水中の放射性セシウム (Cs-134 + Cs-137)

第12回厚生科学審議会生活環境水道部会（2012年3月）より作成

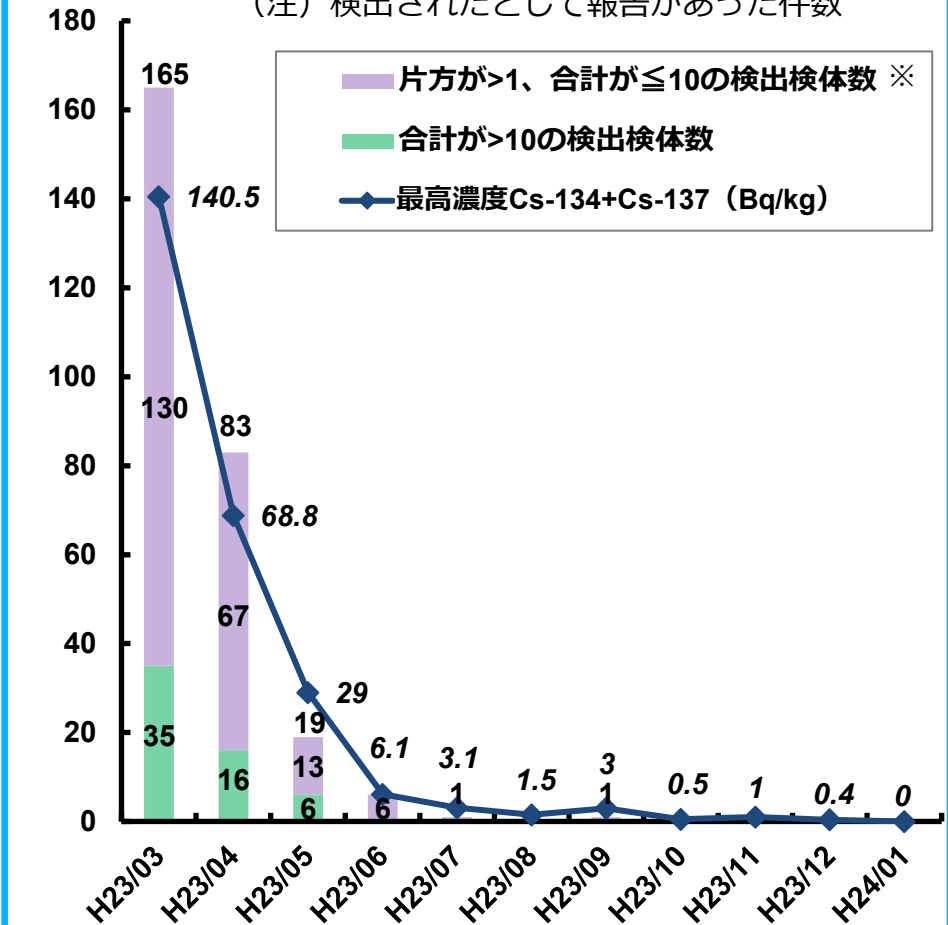
水道事業者等による検査実施状況

放射性セシウム検査検体数の推移



(件) (Bq/kg) 放射性セシウム検出状況 (浄水)

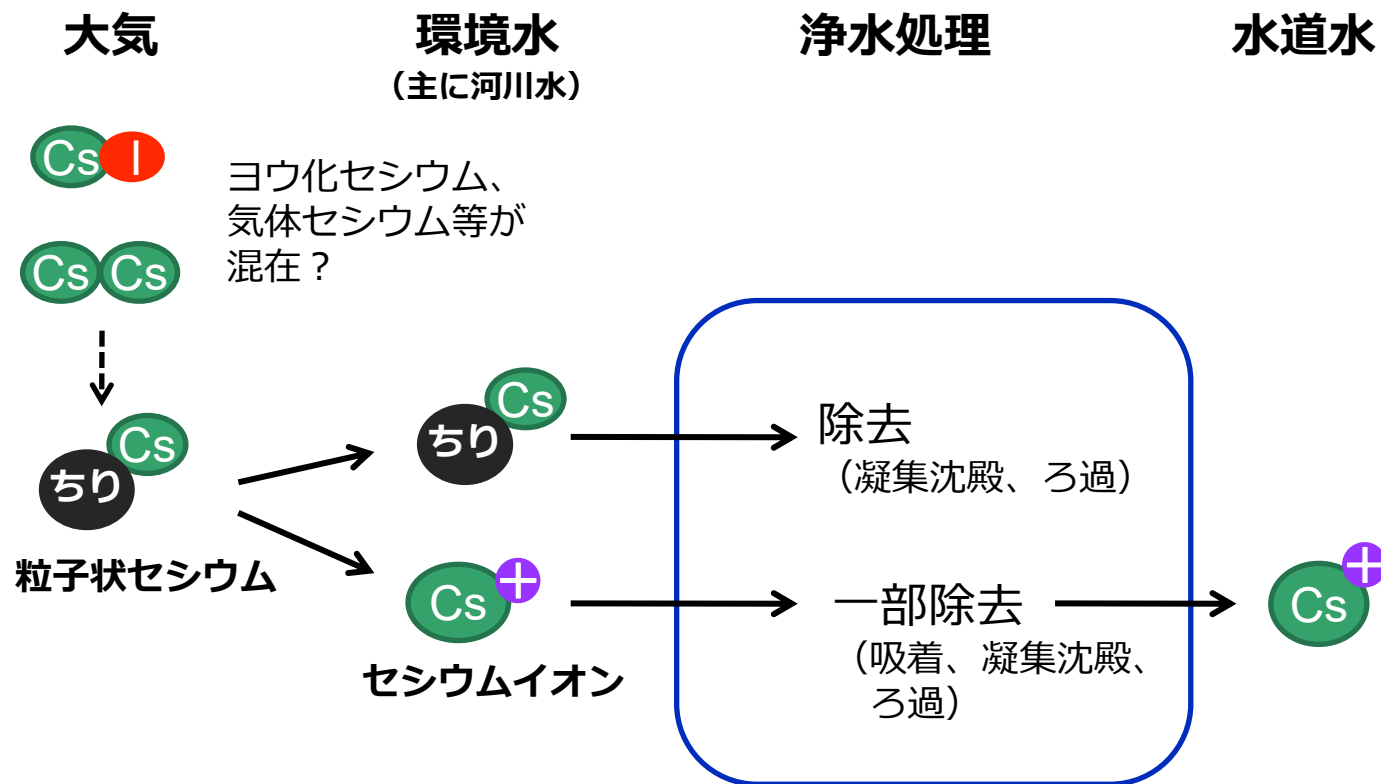
(注) 検出されたとして報告があった件数



Bq/kg : ベクレル/キログラム

第12回厚生科学審議会生活環境水道部会 (2012年3月) より作成

放射性セシウムの挙動概念図

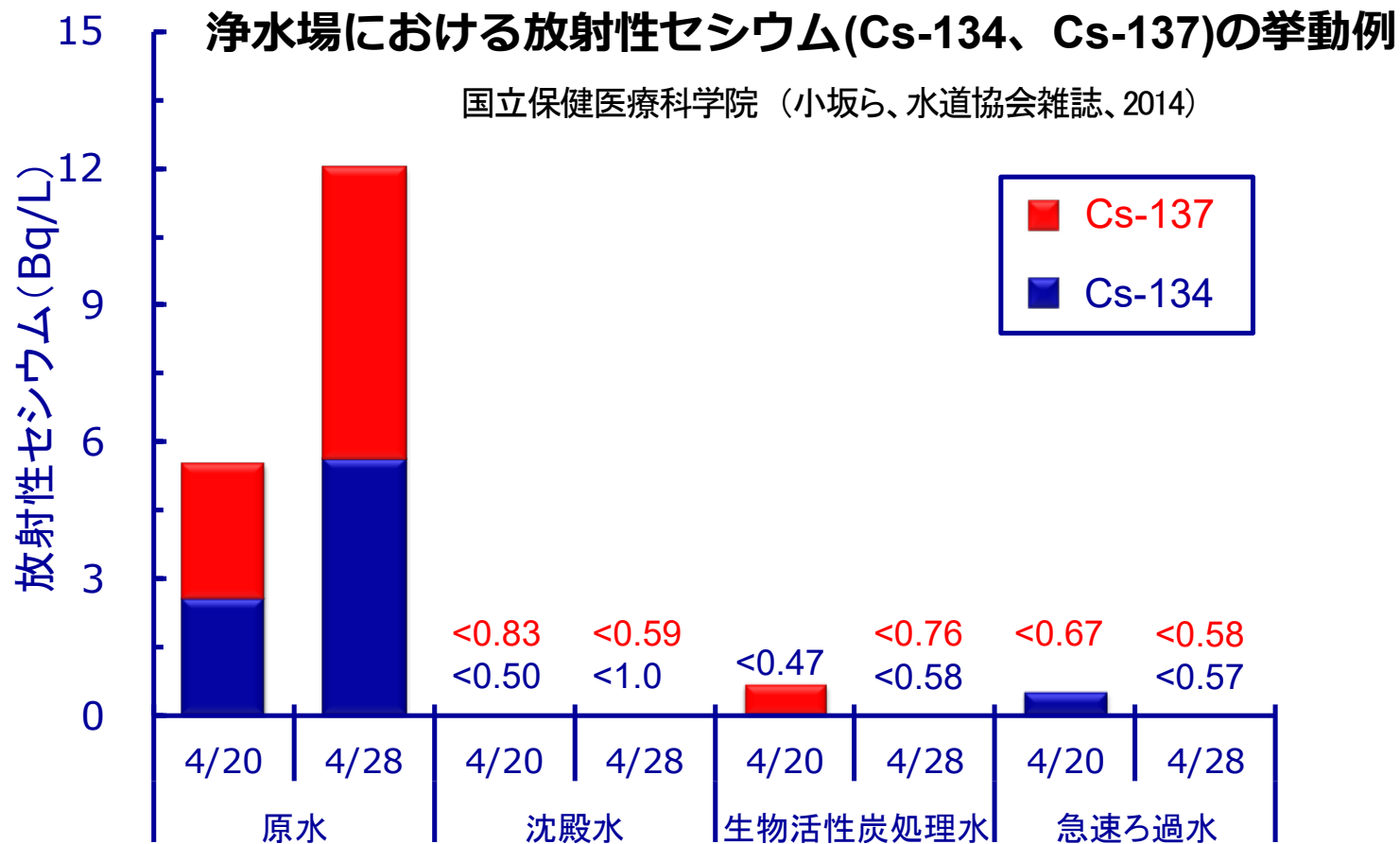


水環境中では、粒子状セシウム又は Cs^+ (陽イオン) で存在する可能性。一般的に陽イオンは、吸着・交換能力のある濁質に吸着しやすい。

● ヨウ素 ● $^+$ セシウムイオン

第12回厚生科学審議会生活環境水道部会資料 (2012年3月) より作成

水道水源に到達する放射性セシウムの多くは、濁質成分（土壌等）に付着して流出するため、厳格な濁度管理の徹底により制御し得る。



業務用等の放射性物質の除去技術として、ゼオライトやイオン交換、ナノろ過膜、逆浸透膜があるが、いずれも費用や設備、効率の観点（特に、ナノろ過及び逆浸透膜の場合は電力が多く消費される）から、通常の浄水処理には適用しにくい。

Bq/L：ベクレル/リットル

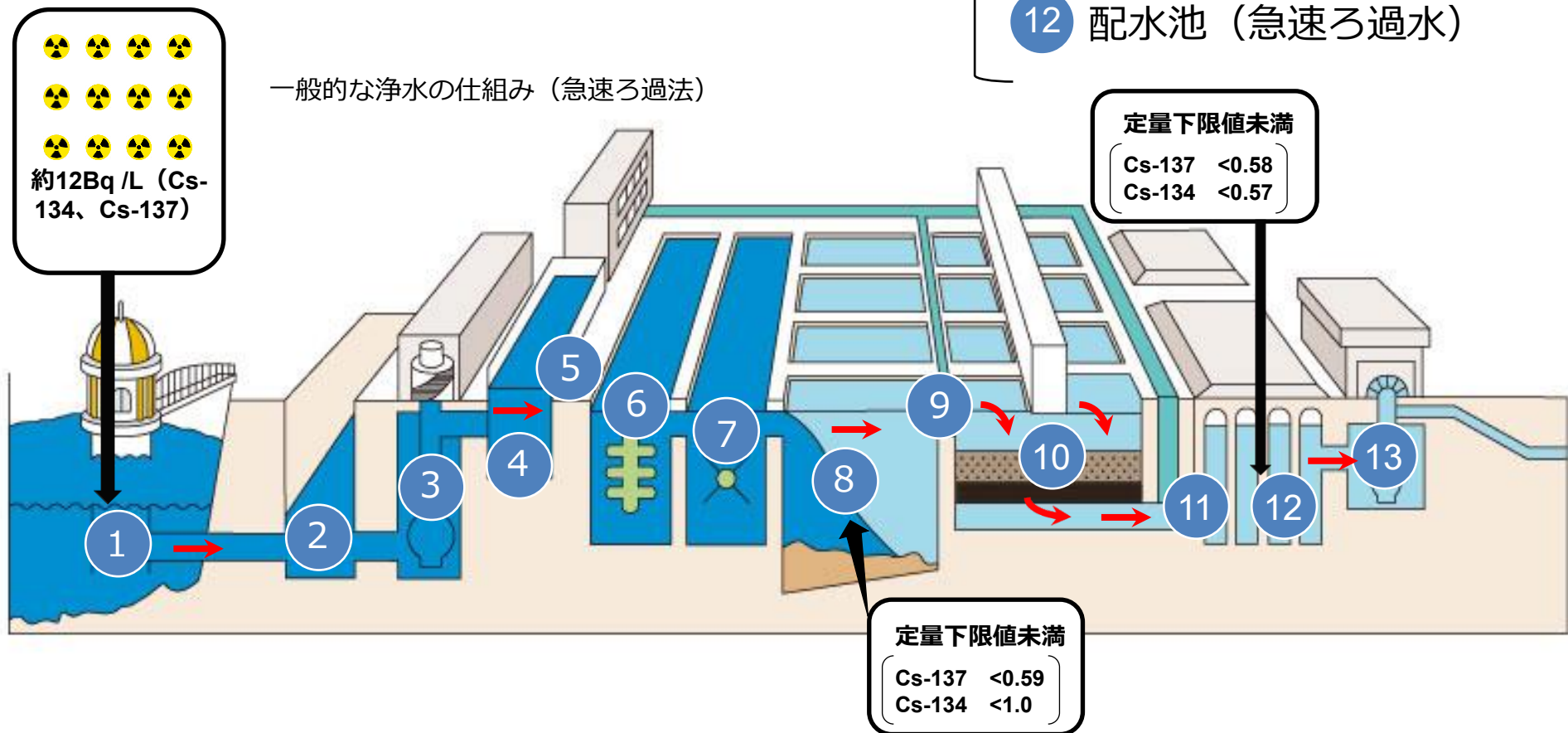
第12回厚生科学審議会生活環境水道部会（2012年3月）より作成

2011年4月28日時点での福島県内浄水場
における放射性セシウム濃度の推移
国立保健医療科学院

採水場所

- ① 取水塔（原水）
- ⑧ 沈殿池（沈殿水）
- ⑫ 配水池（急速ろ過水）

一般的な浄水の仕組み（急速ろ過法）



①取水塔 ②沈砂池 ③取水ポンプ ④着水井 ⑤凝集剤注入設備 ⑥薬品混和池 ⑦フロック形成池 ⑧沈殿池
⑨、⑪塩素注入設備 ⑩ろ過池 ⑫配水池 ⑬送水ポンプ

Bq/L：ベクレル/リットル

第12回厚生科学審議会生活環境水道部会資料より作成 2012年3月